

トレッキングポール 取扱説明書

この度は、トレッキングポールをお買い上げ頂きましてありがとうございます。より安全にご使用頂く為に、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みください。また、お読み頂いた後は、大切に保管してください。

尚、ご不明な点がございましたら、ご購入された販売店もしくは弊社までお問い合わせください。



SGマーク制度は、トレッキングポールの欠陥によって発生した人身事故に対する賠償制度です。MLTR-KI223-02

- トレッキングポールは湿気を嫌います。使用後は、シャフトを分解し十分に乾燥させ湿気を取り除いてください。乾燥後のシャフト挿入時は止め金具が曲がる恐れがありますので真直ぐに差し込むように十分注意してください。(モデルにより分解できない場合は、シャフトを伸ばしたまま布等で水分を拭き取って乾燥後差し込みしてください)
- 使用頻度が高い場合は、1年ごとのエキスパンダーのジョイントプラグ(コマ部品)交換をお勧めします。
- 砂礫などで使用後は、シャフトを分解しシャフト内外部の砂などの混入物を乾いた布等で取り除いてください。(モデルにより分解できない場合は、シャフトを伸ばしたまま布等でシャフト外部を拭き取ってください)
- 長期間使用しないときは湿気の少ない暗室で保管し、再度使用時は使用前点検を必ず行ってください。

3. 折損後の後始末について

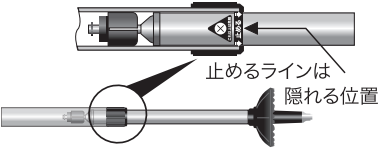
- 折損(破損)品を山野等に放置しないでください。
- 処理方法に関してはお住まい地域の分別方法に従って処理をしてください。

摩擦回転式の長さ調整方法

●パイプを伸び縮みさせ長さ調整できるよう、各パイプを左回し(反時計回し)で軽く緩めてください。



●はじめに下段パイプを下図のように止める線の位置まで伸ばしてください。



●次に図のように左手で中段パイプ、右手で下段パイプを持ち右回し(時計回し)でしっかりと下段パイプを固定してください。

1. 取扱上の注意事項

1. ご使用前、ご使用后に

☆本製品をご使用前後に、必ず各部に異常が無い事を確認して使用してください。

- シャフトのキズ、ひび割れ変形などを点検。(使用中に破損する場合があります。)
- グリップ、バケット、シャフト連結部(ジョイント)等の亀裂、変形、ゆるみなどを点検。
- ストラップ等の亀裂、破損などを点検。

☆使用中に、割れ・折れ・変形・シャフトに傷が生じた場合は、直ちに使用を止めてください。

2. ご使用方法

△本製品はトレッキングポールとして開発された商品です。転倒などの原因となりますので、高齢者の歩行補助や松葉杖などの医療用の用途には絶対に使用しないでください。

△長さ調整の際に十分に締め付けてもシャフトが縮むことがあるので注意してください。大きな段差で使用したときや、長時間歩行した後は緩みやすいので、特に注意してください。

4. 修理・改造について

【次の事項は必ず守ってください】
トレッキングポールの修理・改造については安全上の問題等があり、事故の原因となりますので絶対にお止めください。尚、パーツ交換時は、本製品の専用パーツを使用し確実に取り付けをご使用ください。

5. アフターサービス

保証規定に基づく無償修理期間を経過した製品、及び期間内での無償修理対象外の修理については当社有償修理に従い、修理またはパーツを発送させていただきます。アフターパーツに関しては、生産終了後5年間は保有していますが、在庫がなくなった場合はやむを得ず一部代替部品を使わせて頂く事がありますのでご了承ください。

※製品の保証期間……
お買い上げ後 1年間

△長さ調整後、軸方向に圧力をかけて、シャフトが縮まないことを確認して使用してください。

△製品に「極めて大きな力が加わった場合破断するおそれがあります」と記載があるモデルは、シャフトに使用されている素材の特性から瞬時に破断することがありますので十分注意してご使用ください。

- シャフト連結部(ジョイント)の「ゆるみ」に注意し、ご確認ください。万一、シャフト連結部に「ゆるみ」がある場合ケガ等の発生の原因となります。(使用中でもシャフトがゆるむ事がありますので注意して確認しながらお使いください。)
- ご使用中もけがの原因となるので破損、変形等ない各部分を十分点検しながらお使い下さい。
- トレッキングポールは落雷の恐れがある時は危険ですので、使用を中止してください。
- 振り回すなど、他の人が危険な状態になる行為は避けてください。
- 石突き等の先端が鋭利になっているものは、先端部を使用しない時は、保護キャップをつけてください。特にザックにポールを取り付けて移動するときには、必ず保護キャップ又はラバーチップを付けてください。

製品の品質保証

本製品につきましては、使用者の安全確保、また使い易さを最重点に設計、製作、そして厳密な検査を経て皆様のお手元に届いております。

万一、お買い上げ頂いた製品が通常の使用状態において保証期間中に、品質、製造上の不備により当該商品が故障、損傷した場合は、当社にて無償で修理または、同等品と交換させていただきます。但し、次の場合は保証期間内でも保証致しかねますので予めご了承ください。
※保証の最終判定は当社判断とさせていただきます。

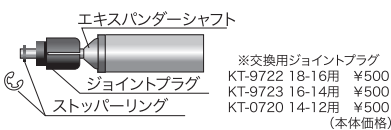
シャフト部の破損について次の場合は、保証期間内でも有償修理となります。

- 消耗箇所の損傷によるもの。
- トレッキング中に過度な衝撃、外力をシャフトが受けた場合。
- 転倒、衝撃など過度の衝撃によって破損した場合。
- 破損現品に、シャフトの破損の原因となるような多くの傷や摩耗が見受けられた場合。

1. シャフトを緩めて引き抜いてください。この時上下シャフトを必ず平行にスライドさせて引き抜いてください。エキスパンダーシャフトが曲がると使用できなくなります。

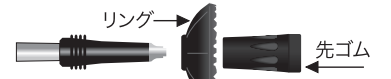
2. エクスパンダーからベンチなどを利用してストッパーリングを抜き取ってください。(再度はめ込みますので無くさないように)使用していたジョイントプラグを外してください。

2. 新しいジョイントプラグをはめて、ストッパーリングをペンチなどを使用してはめ込みます。その後アッパーシャフトに挿入します(ジョイントプラグを回転させ挿入できる範囲までズラしてからシャフトに挿入すると、内部で空回りしなくなります)しっかりと固定できます。



先ゴム・リングについて

リング交換は取り外しもネジ式で簡単にでき、先ゴムを付けると地面を保護してのトレッキングを楽しめる構造になっております。(一部モデルでは先端構造が異なる物や、パーツは別売りの場合もあります)



ストラップの長さ調整方法

※一部アイテムでは本図と違う仕様があります

ストラップ端のベロを引くと短くなり、連動しているストラップを引くと長くなります。反対側のストラップ端に取り付けられているストッパーが本体内部にあることで、ストラップを固定します。取っ手部分全体を引くと固定出来ますが、一部だけ引くと動きますので、ご注意ください。

6. シャフトは横方向の力に対して破壊しやすいので、石突きを岩の割れ目に入れたり、ねじったりしないでください。

2. お手入れ及び保管について

- お手入れは、乾いた布等で水分を拭き取ってください。
- 熱湯をかけたり、熱湯に浸したりしないでください。
- ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、薬品類は使用しないでください。(成型樹脂品の変形、変色および、塗装印刷の剥がれが発生する恐れがあります。)
- 保管は室内でしてください。
- 火気に近づけないようにしてください。
- 物が落下したり、倒れてこない場所に保管してください。
- 本製品の上に物を置かないでください。
- ガムテープなどの粘着性のあるテープを巻いて保管すると、「糊の付着」「変色」「印刷、塗装の剥がれ」等の原因になりますので、使用しないでください。
- 油やオイルなどの使用は避けてください。(長さ調節の際に、シャフト内部と接続コマが滑り固定できなくなる恐れがあります。)

次の場合は、保証期間内でも保証ができませんのでご了承ください。

- 誤った使用による故障、損傷。
- 不当な修理または、改造による故障、損傷。
- 火、熱などによる外的要因による変形。
- 保管、運搬、輸送上の不備による損傷。
- 火災、天災、地変等による損傷。
- その他、当社判断により保証対象とみなされない場合。

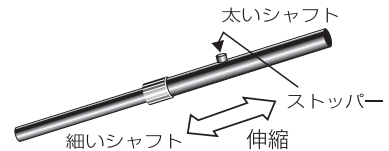
-お客様相談窓口-

株式会社 **ミザキ**

〒384-0061
長野県小諸市加増上の平561-2
tel 0267-22-1354
fax 0267-23-5556

ラチェット式の長さ調整方法

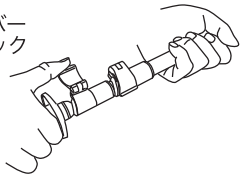
ストッパーが太いシャフトの穴にかかるまで、細いシャフトを穴に沿って伸ばして固定してください。



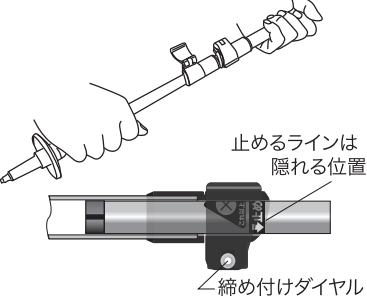
※収納時(縮小)に下段シャフトが抜け落ち紛失してしまう恐れがございます。収納の際はバック等の中に入れて持ち運びください。

カムレバー式の長さ調整方法

●最下段のレバーを起こしてロックを解除します。

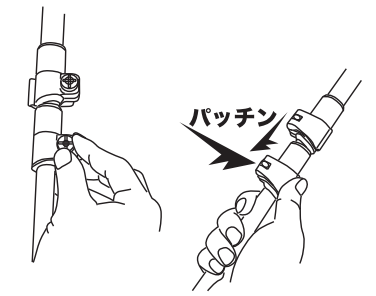


●最下段パイプを「止める」ラインまでスライドさせます。このとき図のように「止める」ライン以上は伸ばさしないでください。



●締め付けダイヤルを回して微調整します。

カムレバーを倒してロックする際「パッチン」という音が聞こえるように、カムレバーの解除→ダイヤル調整→ロックを繰り返して調整してください。



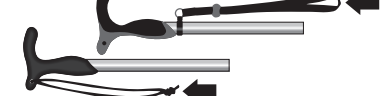
●中段パイプも同様にご使用になる長さに設定しロックを行ってください。下段同様「止める」ライン以上は伸ばさしないでください。

※注意 ロックした後や長さ調整をした後は必ず軸方向に圧縮力をかけて、パイプが縮まらないことを確認してから使用してください。



落下防止ベルトの注意事項

下記図のような商品のグリップに取り付けられた紐や、取り外しが容易な落下防止ベルトは、この紐や落下防止ベルトに体重を掛けて使用することを意図していませんので、体重を掛けて使用しないでください。



カーボンシャフトについて

カーボン素材採用モデルをお買い上げのお客様へ、カーボンシャフトは軽くて強靱ですが、反面キズや打痕には極めて弱い場合があります。特に注意をしてください。(目に見えないキズ、衝撃等が原因で使用中に突然折損することがあります。)